

聖徳大学言語文化研究所主催公開講演会

かなの美への誘い

古筆を楽しむために

内容

中国・朝鮮半島を経て日本に伝えられた文字、「漢字」。日本人は、その漢字を日本の言葉に当てて、一字一音の表音文字として表記するようになりました。時を経て、文字の形はもとの形からは想像がつかない程に省略されたスタイルになり、「かな」は生まれたのです。つまり、「かな」は、日本人が発明した日本固有の文字なのです。

使われ始めてから約200年の間に、「かな」は進化、発展、昇華され、古今和歌集や和漢朗詠集等、多くの名品が生まれました。これらの古筆を鑑賞することは、平安貴族の感性と叡智に触れ、さらに日本人の美意識の原点を探ることにつながるかも知れません。

今回は、「かな」が生まれてきた歴史を辿ると共に11～12世紀に生まれた古筆の名品を通して、「かな」の基礎知識や用語など、鑑賞の手引きとなるお話をしたいと思います。

古筆の名品を鑑賞し楽しみたい、臨書して学びたいという方々の一助になれば幸いです。

日時 平成27年

12月12日(土)
13:00~14:30

会場 **聖徳大学10号館 14階**

千葉県松戸市松戸1169

JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員 **70名** (事前申込不要)

後援 松戸市教育委員会
市川市教育委員会
柏市教育委員会
取手市教育委員会

参加費
無料

講演者



岩井 秀樹

聖徳大学文学部文学科 教授

略歴

1955年東京都出身。慶応大学文学部卒業。
学生時代より東山一郎に師事、かな書道を学ぶ。
以来、作品活動を続けながら後進の育成にも力を注いでいる。
現在、聖徳大学教授、日展会友、読売書法会理事、謙慎書道会常任理事。

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: 047-365-1111 (大代表)

ホームページ: <http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

